



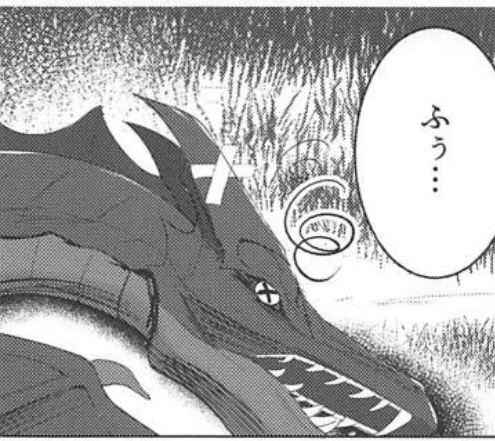
イ  
ケ  
ナ  
イ

絆  
の  
築  
き  
方



18歳以上対象  
DOUJIN ★ For Adult Only





ふう…



これで一旦片付いたのかな？



先輩！  
これで全ての反応が  
消滅しました！



すごいわ  
マスター！

お怪我とかは  
ないかしら？



そんな…



心配してくれて  
ありがとう  
アビー

カルデアの夢火：  
絆レベルの上限を上げて、  
サーヴァントとより深い絆で  
つながることが出来るアイテムだ。



このアイテムを  
アビーに捧げた僕は  
毎日のように一緒に  
クエストをこなしていた…



先輩？

んー？

先輩っ！

あ！  
もしかしてマシユも  
頭を撫でて欲しいの？

先輩…  
もう反応もありませんので  
いったん拠点に帰りましょう

えっ  
いえ…

その…



よろしく  
お願いし…ま…

ん…？

どうしたんですか？  
先輩？

……



何かいましたか？

反応には  
引つかからないのですが…

もしかしたら  
瀕死状態での  
生き残りかだから

ちよつとアビーと  
二人つきり  
みてくるよ

えっ…でも…



こっちはアビーがいれば  
大丈夫だから！

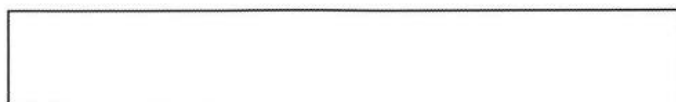
先輩…！

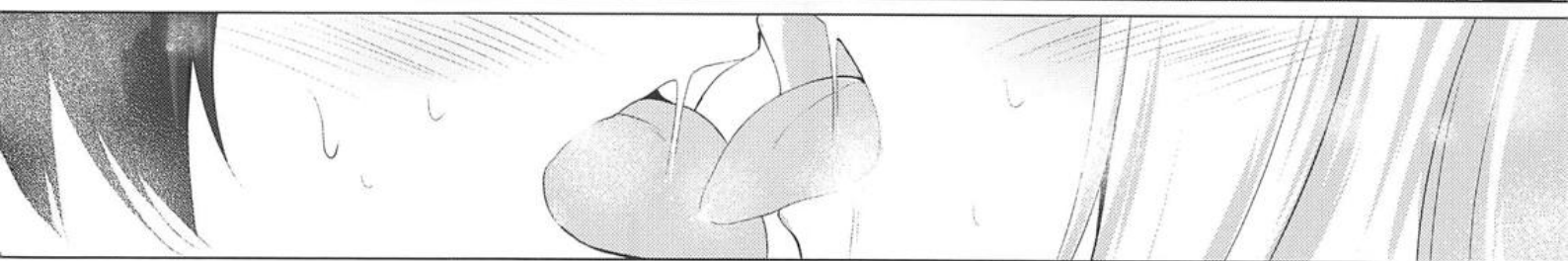
帰ったら続きやるから  
待っててねー！

そんなー



拠点近いしましゅは  
先に戻ってて





きっかけは――

頭を撫でるといふ  
普通(?)のスキンシップでも

絆レベルが上がった  
始まりました

ピコッ

それから実験を装い  
隠れながらキスから試した

アビーも嫌がる様子もなく  
幸いにも秘密にして  
くれていたせいもあり

僕自身もだんだん過激なことを  
要求するようになっていった



近くで  
よく見せてよ



ひゃっ

もしかしてアビー  
こういうの好き？

あ、ごめん…

ていうか  
もうこんな  
トロトロだけど…



マスター…

今日もこうなるって  
思ってる…

実は下に…  
何も穿いてない…の…

マシユさんにバレないか  
ドキドキしてたわ…



だって…

うおおおおおお





ものすごく…  
興奮する…かしら…

みんなに  
秘密でしてるとて…



ふふっ…

考え方も  
本当に悪い子に  
なっちゃったみたい…

さあマスター…  
続き…を…



ま、ま、  
マスター!?

ひゃっ

もうちょっと  
優しく…



アビーが…  
こんな悪い子だから…

そ…っ

だめっ…!

いけないんだぞ…

大きい声出すと  
ばれちゃうかもよ

そんな…  
マスター…

いじわる  
しないで…



もう…  
声が…っ

んっ…

で…ちやう…っ

む…りい…

だったら…



おっ  
いきなり舐めるなんて  
アビ〜って  
本当に悪い子だなあ…

だってマスターのこれ…  
好きなんだもん…

じゃあ教えたとおりに  
してみようか

こっちで  
お願いしようかな？

ぽろん



上手かしら  
マスター？

いいぞ！  
じゃあ…次は…

さっき運動して  
汗かいた後だけど  
我慢してね

そうそう…  
美味しそうに…



やっぱり小さい子は  
覚えるのが早いな...

舌が使いが...っ...  
前より...上手くなってる...

そっ...ごっよ...

うっ...

射精る...っ



やば...  
まだ射精る...

いいから  
飲んで...っ

全部っ...

びびる  
びびる



だってこんなに  
美味しい味が  
するのですもの

えへへ：  
こんなに飲んだし  
たくさん成果が出るかしら…



ごめん！  
アビーがエロ過ぎてつい…

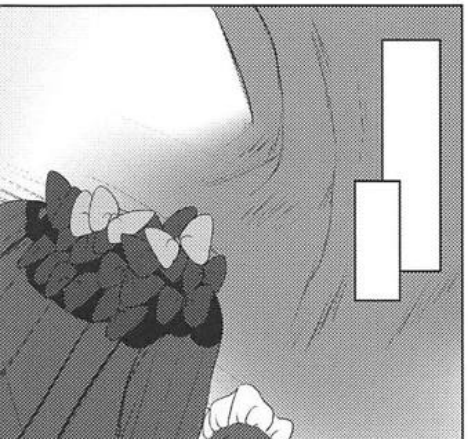


もっと深いところに  
溢れるほどくださいな



もっと…もっと…  
くださる…？

マスター…？



もっと  
奥の方に  
行こうか…

じゃあ…



ドキドキ

きつと今挿れたら…  
すごいことになるわ…

治まらないうちに…  
早くシテ…

マスター…

お外で裸になるなんて  
すごく胸がドキドキする…



挿れられそう…



あんっ  
焦らさないで  
マスター

焦っているアピーが可愛いから  
からかいたくなつて

でもこれくらい濡れてるなら  
口〇まんこでも何とか…



キテる…っ

あっ…

あっ…あっ…  
あんっ…



私とマスターが膣内で...  
かき混ぜられてる...っ

もう何も分からないよお...

大好きい...♡

これ...好きい♡

おくに...  
とどいてて...っ



怖いわ...  
マスター...

だから...

もっと...  
もっと...♡

ちよう...だい...っ

もっと...深く...  
つながらましよう...っ



あんなに  
あんなに  
あんなに

あんなに  
あんなに  
あんなに

あんなに  
あんなに  
あんなに



トド...

.....

ふう...  
戻ろうか  
アビー...



どき





おっ…？

ごめんなさい…  
マスター…！！

は  
は

私まだまだマスターと  
深くつながりたいの…っ

はっ



こっちもすげー…

奥まで届く…♡

私頑張るから…

これでもっと  
仲良くなれるなら

もっともっと♡

気持ちいいこと  
しましゅ♡



マスター…  
大好き…っ♡

ずっと一緒に  
気持ちいいこと  
しましょう…♡

ああ…  
ずっとこうやって2人だけの  
秘密のセックスしような



嬉しい…♡

私…ずっとマスターの  
特別になりたかったから…

僕も…っ

…っ  
ごめん…  
もうイクそ…

マスターのせし  
全部出して…っ♡

私も…  
イク…っ♡

イク…

膣内で…  
一緒に  
イクましょ…っ♡

イク…っ♡



2019/04/29 COMIC1★15

発行人：とも一 発行：Twilight Road 印刷：大陽出版株式会社様

mail:tomoice555@yahoo.co.jp

twitter:@tomorrow\_0

pixivID:1801112

18歳未満の所持閲覧、及び無断転載・  
複写・アップロード等を禁じます。

*Twilight Road presents*  
*Comic1★15*